

**2006年度第1四半期連結決算の概要と  
通期の業績予想の修正**

横浜ゴム(株)(社長:南雲忠信)の2006年度第1四半期(2006年4月1日から2006年6月30日)の連結決算がまとまった。タイヤ事業が海外を中心に売上げを伸ばしたほか、MB事業も高圧ホース、航空部品を中心に増加し、売上高は前年同期比11.0%増の1,068億円となった。しかし、原材料価格の高騰や販管費の増加により、営業利益は同34.2%減の18億円、経常利益は同28.7%減の20億円、純利益は同16.2%減の12億円となった。

タイヤ事業は北米・アジアを中心に海外販売が好調だったほか、国内でも新車用タイヤが順調に推移し、売上高は前年同期比11.8%増の782億円となった。しかし、原材料価格高騰の影響などにより、営業利益は同64.6%減の10億円となった。

MB事業は需要低迷でゴルフ用品が落ち込んだものの、高圧ホース、マリンホース、航空部品などが売上げを伸ばし、売上高は前年同期比8.9%増の286億円となった。営業利益は売上げ増に加え、各種改善施策を展開した結果、同10億円増の10億円(前年同期は3,200万円の赤字)となり、大幅な収益改善を果たした。

今回の業績を踏まえ、5月11日に公表した2006年度通期の業績予想を修正する。売上高は従来予想の4,850億円(前期比7.3%増)に据え置く。しかし、天然ゴムを中心に原材料価格がさらに高騰すると予想され、営業利益は210億円から160億円(同27.1%減)、経常利益は160億円から110億円(同42.2%減)、当期純利益は105億円から70億円(同67.4%減)に見直す。

**このリリースに関するお問い合わせ先**

**横浜ゴム(株) 広報部 担当: 木下 石塚**  
**TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-3432-8430**

## 決算ハイライト

(百万円)

	2006 年度第 1 四半期 (2006.4.1~2006.6.30)	2005 年度第 1 四半期 (2005.4.1~2005.6.30)	2005 年度 (2005.4.1~2006.3.31)
売上高	<b>106,838</b>	96,219	451,911
営業利益	<b>1,847</b>	2,805	21,947
経常利益	<b>2,050</b>	2,877	19,015
税金等調整前四半期(当期)純利益	<b>2,018</b>	2,755	22,673
四半期(当期)純利益	<b>1,254</b>	1,497	21,447
純資産	<b>170,491</b>	136,542	170,675
総資産	<b>501,903</b>	433,316	502,014
一株当たり:			
四半期(当期)純利益(円)	<b>3.74</b>	4.38	62.75

## セグメント別

(百万円)

	2006 年度第 1 四半期 (2006.4.1~2006.6.30)	2005 年度第 1 四半期 (2005.4.1~2005.6.30)	2005 年度 (2005.4.1~2006.3.31)
事業別:			
売上高			
タイヤ	<b>78,216</b>	69,931	335,734
MB	<b>28,621</b>	26,287	116,177
営業利益			
タイヤ	<b>1,013</b>	2,864	18,109
MB	<b>1,003</b>	(32)	3,941
消去	<b>(170)</b>	(26)	(102)
所在地別:			
売上高			
日本	<b>78,828</b>	74,983	348,666
北米	<b>22,461</b>	17,212	82,186
その他	<b>5,548</b>	4,022	21,059
営業利益			
日本	<b>1,286</b>	2,652	19,622
北米	<b>572</b>	450	2,561
その他	<b>17</b>	(63)	241
消去	<b>(28)</b>	(234)	(478)

(注)所在地別の北米は米国及びカナダ。その他は欧州、大洋州、アジア